

粉剤散布機

取扱説明書

PN-40-3



粉剤散布機をご使用になる前に

- 当社製品を安全かつ正しく快適にお使いいただくために、必ず本取扱説明書をお読み下さい。誤った使用方法是事故をひきおこす恐れがあります。
- お読みになったあとも必ず、製品と共に保管して下さい。
- 本製品を貸与または譲渡なさる場合は、この取扱説明書を必ず添付してお渡し下さい。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、すみやかに販売店にご注文下さい。
- なお、本製品は安全対策や、機能向上のため使用部品の一部変更を行う場合があります。このためイラストなどの一部が本製品と一致しないことがありますのであらかじめご了承ください。
- また、ご不明の点やお気づきのことがございましたら、お買い上げ頂きました販売店、農協などにご相談下さい。



印付きの下記マークは、安全上、お客様にかかわる重要な項目です。
必ず、お守り下さい。



危険

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。



警告

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。



注意

その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。



株式会社 たいしよー

目 次

■ 安全に作業をするために	1 ~ 2
■ 使用上の注意	3
■ 取扱上の注意	4
■ 組立手順	5 ~ 8
■ 散布量の調整方法	9
■ 散布量目盛りの決め方	9 ~ 11
■ 操作説明	11
■ 振動板レバーの使用方法	12
■ ローターの着脱方法	12
■ シャッターの外し方	13
■ シャッター開度の調整方法	13
■ 撒き分けシャッターの使い方	14
■ フィルターの交換方法	14
■ 使用後の管理	15
■ 分解図、部品表	16 ~ 21
■ 仕様諸元	

■ 安全に作業をするために



警告

粉剤散布機の各取付部のボルトは確実に締める

ご使用になる時は、毎回必ず各部ボルトのゆるみがないことを確認して下さい。

【守らないと】

各取付部のボルトがゆるんでいると、粉剤散布機が脱落し、事故をまねく恐れがあります。

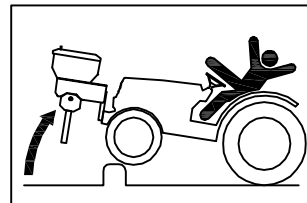


警告

粉剤散布機装着後のトラクタ運転は慎重にする

【守らないと】

畦などの段差を乗り越える際に、トラクタ本体のバランスを損ない、転落事故をおこす恐れがあります。

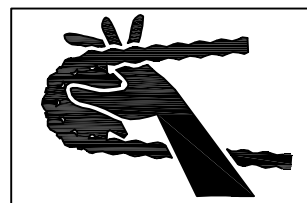


警告

チェーンカバーを外して使用しない

【守らないと】

機械に巻き込まれてケガをする恐れがあります。

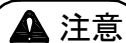


注意

機械の取付は必ず平坦な場所で、ロータリーを下げた状態で取付ける

【守らないと】

事故・ケガ・機械の故障をまねく恐れがあります。



注意

粉剤散布機をリアに装着する場合、ロータリーを上げた状態で機械がトラクタにぶつからない事を散布作業前に確認する

取付け状態によってはトラクタ本体に接触することがあります。その場合、ロータリーの高さ規制を行なって接触しないようにして下さい。

【守らないと】

事故・ケガ・機械の故障をまねく恐れがあります。



注意

コードは、エンジン等の高温部や舵取り機構等の可動部、板の鋭端部などには取付けない

【守らないと】

ショートして、火傷や火災事故をひき起こす恐れがあります。

**注意**

粉剤散布機を装着したトラクタで一般道路を走行する場合は、
法律を遵守する

一般の公道を走行するときは、道路運送車両法と道路交通法に従って
走行して下さい。

【守らないと】

道路運送車両法と道路交通法に違反します。

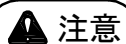
**注意**

機械の改造禁止

粉剤散布機を改造して使用しないで下さい。

【守らないと】

事故・ケガ・機械の故障をまねく恐れがあります。

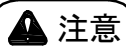
**注意**

粉剤散布機を使用する時は、農薬用マスク、手袋、長ズボン、長袖の
作業衣などを着用すること

特に、ホッパーへ薬剤を投入する際には薬剤の吸引や肌への接触を避けられる
ような服装で行って下さい。

【守らないと】

薬剤を吸引したり、肌に触れると健康を損なう恐れがあります。

**注意**

保守・点検・整備の時は必ずコネクターを外す

ローターやシャッターの掃除などを行う時には、必ずコネクターを
外してから行って下さい。

【守らないと】

機械が急に動き出したりしてケガをする恐れがあります。

使用上の注意

(1) 下記のようなものは 散布できません。 ホッパー投入前にご確認下さい。

- 液剤やペースト剤等の水分を多く含んだもの
- 薬剤を握った時、固まる位水分を含んでいるもの
- 消石灰（粉状）等の土壌改良剤
- 粒状肥料、ペレット等の粒の大きいもの

(2) 薬剤を入れる前に 振動板レバーの切替えを行って下さい。

- 微粒剤等の流れの良い薬剤の場合 . . . レバー「停止」側へ
- 粉剤等（ネビジン等）の場合 レバー「振動」側へ

詳しくは12頁の「振動板レバーの使用方法」をご覧ください。

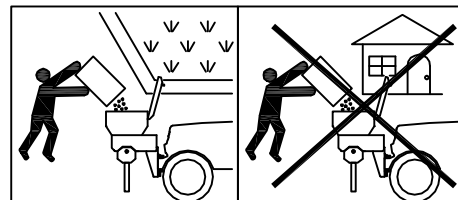
(3) 雨の中での散布作業はできません。 散布機は防水構造になっていません

ので、雨中作業をしますとホッパー内に雨が浸入し薬剤が固まったり、ホースが濡れて薬剤が詰まったりして故障の原因となります。

(4) 一日の作業が終わったら、ホッパーとローターを外し、薬剤を完全に排出して下さい。（ホッパー内に薬剤を残して翌日まで置いていると、空気中の水分を吸って薬剤が固まり、故障の原因となります。）

■ 取扱上の注意

- (1) バッテリーへ接続する場合（バッテリー電源延長コード使用時）は、⊕ ⊖ を間違えないようにして下さい。
- (2) 粉剤散布機をリアに装着する場合、ロータリーの上げ下げは静かに行って下さい。
- (3) キャビンタイプで粉剤散布機をリアに装着する場合、後方窓を開けたまま使用しないで下さい。
- (4) トラクタの前後バランスの悪い時はフロントウェイトを装着して下さい。
- (5) 薬剤の補給は必ず電源スイッチを切ってから行って下さい。
- (6) 薬剤以外の物は投入しないで下さい。
- (7) 薬剤の投入は必ず圃場で行って下さい。
(薬剤を入れたまま散布せずに長時間（15分以上）走行すると、薬剤が固く締まってヒューズが切れることがありますので注意して下さい。)
- (8) 薬剤投入時以外は、ホッパーに付いているパチン錠でフタの開き止めをして下さい。
- (9) ホースの先端を塞いで運転しないで下さい。
- (9) シャッター開度を閉にしたまま運転しないで下さい。
- (10) 散布機が極端に傾いている状態で運転しないで下さい。
- (11) シャッターの開度調整は、シャッター閉動作が終了した状態で行って下さい。
- (12) ヒューズが切れた場合は、ショートまたは過負荷の原因（底板への薬剤の付着等）を取り除いてからヒューズを交換して下さい。また、ヒューズは必ず指定のものを使用して下さい。
(10A 平型ヒューズ)
- (13) ホッパー内に薬剤を入れたまま散布機を放置しないで下さい。
- (14) 長期保管の前には分解掃除をして下さい。
- (15) 雨天時には散布機は使用できません。
- (16) シーズンの作業が終わったら、底板やシャッターに付着した薬剤をよく洗い落として下さい。
(洗浄後、完全に乾燥させて下さい。)
- (17) 保管は屋内で行って下さい。特に電気系統に水がかからないように注意して下さい。



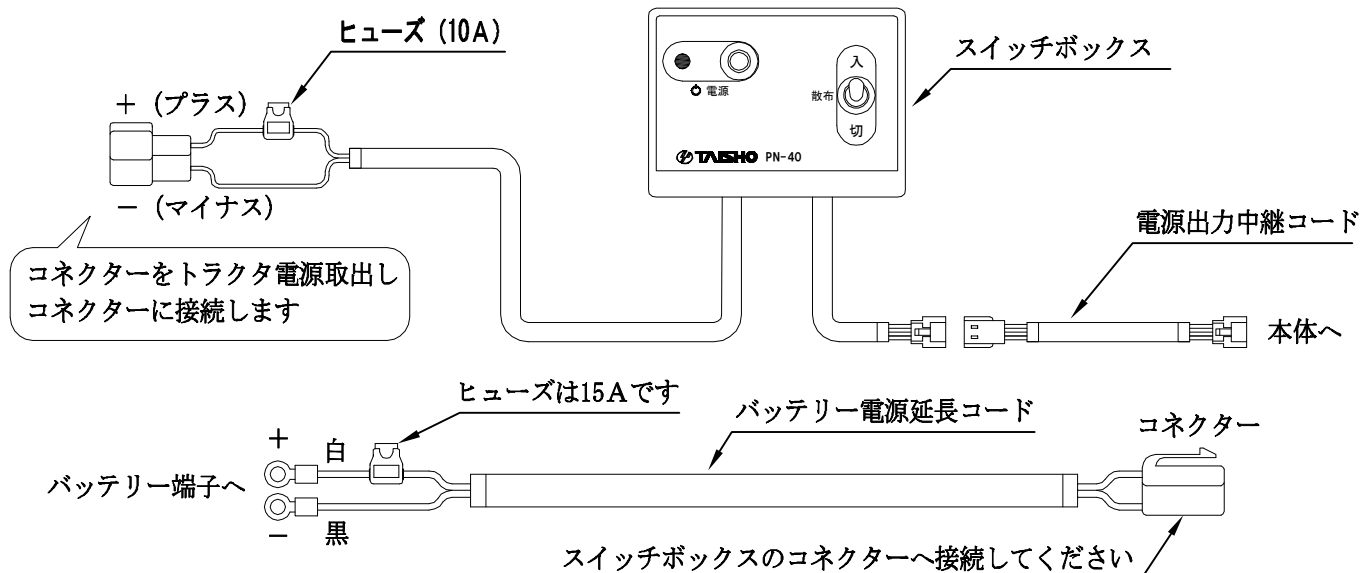
■ 組立手順

A. 配線およびスイッチボックスの取り付け

- (1) スwitchボックスから出ている電源ケーブルのコネクターをトラクターの電源取出しコネクターに接続します。

※トラクタ電源取出しコネクターが無い場合、付属の延長コードをお使い下さい。

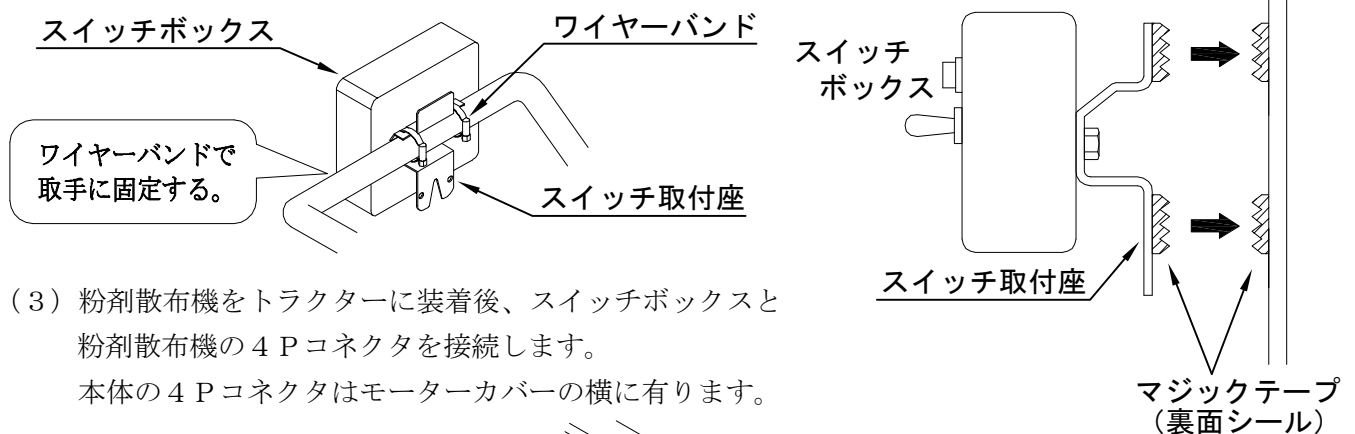
※バッテリーの接続は確実に行ってください。接続が悪いと動作不良の原因となります。



- (2) スwitchボックスを運転席の操作し易い所に取り付けて下さい。

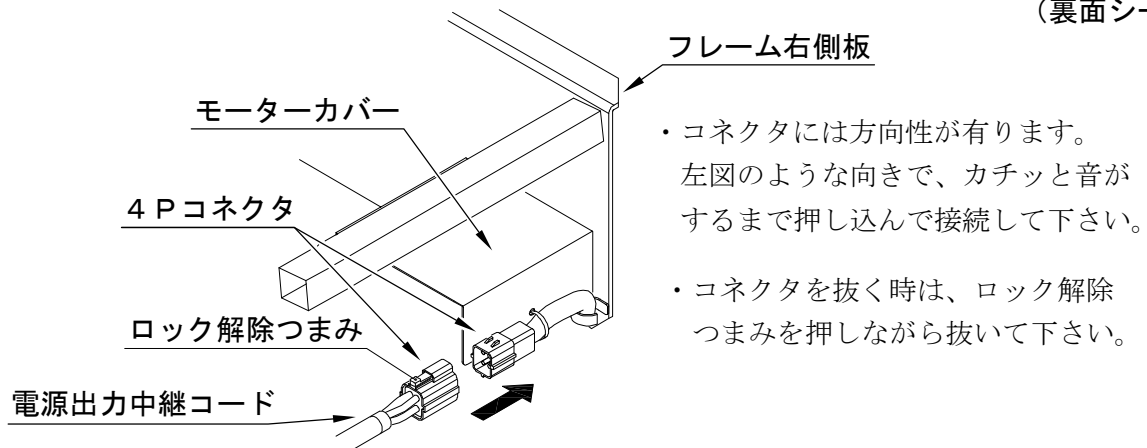
トラクターのフェンダーの取手などを利用して取り付けると便利です。

また、ボルト、ナット等で取り付けられない場合は、付属のマジックテープを使い、キャビンのガラス等の平らな面に取り付けて下さい。



- (3) 粉剤散布機をトラクターに装着後、スイッチボックスと粉剤散布機の4Pコネクタを接続します。

本体の4Pコネクタはモーターカバーの横に有ります。



- (4) コードの取付けは、トラクターの高温部や舵取り機構等の可動部、板の鋭端部を避けて取付けて下さい。

– 6 –

C. 本体の取り付け

(1) フレームのコの字になっている部分（角パイプ □50mmに対応）で

取付部材をくわえこむようにして下さい。

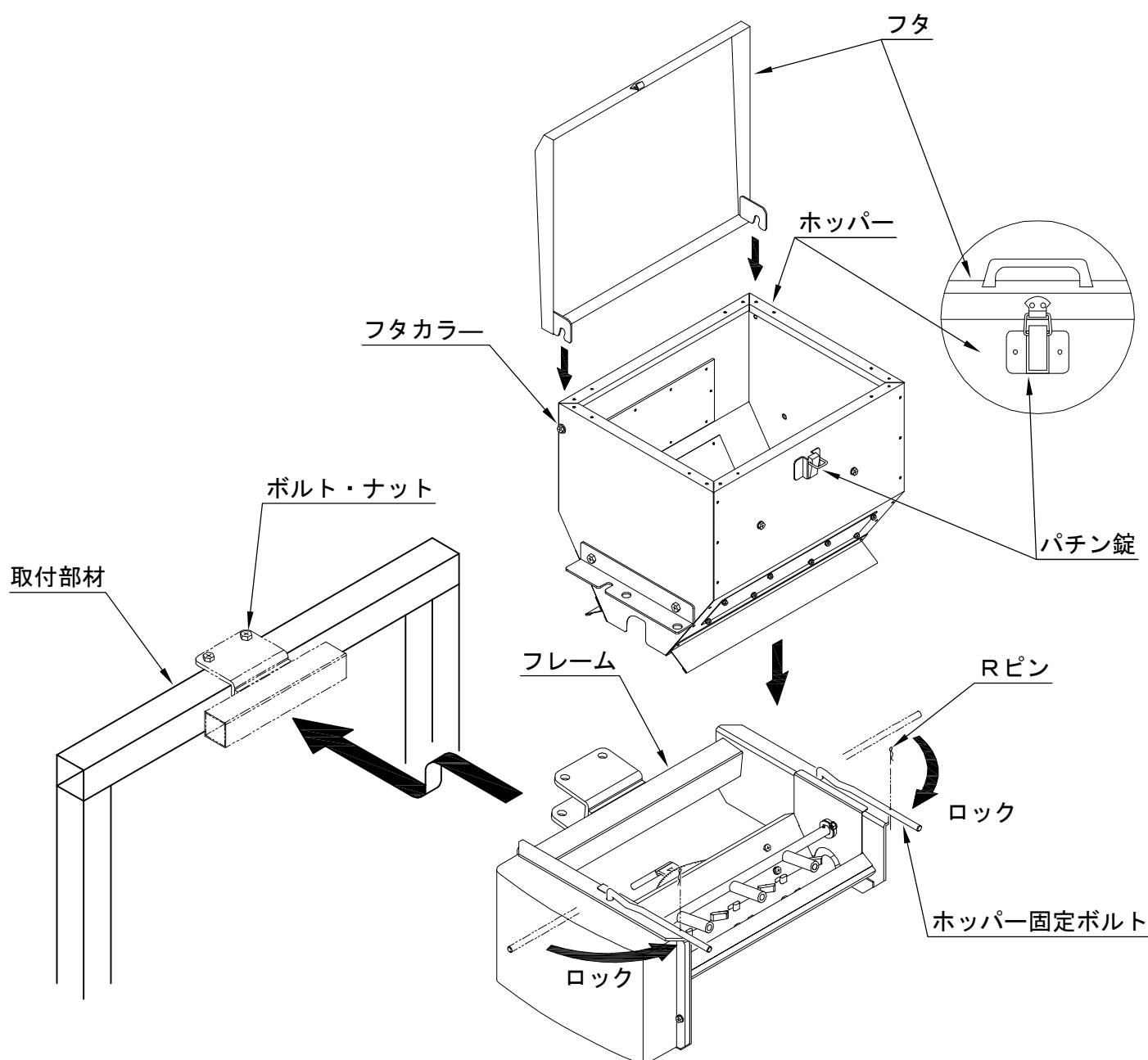
(2) コの字部分をボルトとナットで締めて固定して下さい。

(3) ホッパーをフレームにのせ、両サイドのホッパー固定ボルトでフレームにロックして下さい。

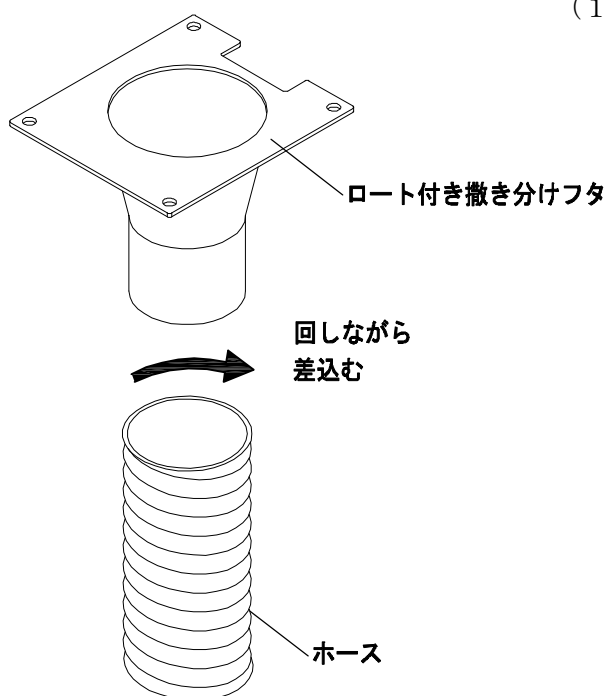
(4) 固定ボルトのロックが外れないよう、Rピンを差して下さい。

(5) ホッパーのフタをホッパー両端のピン（フタカラー）に上から引っ掛けるようにして取り付けます。

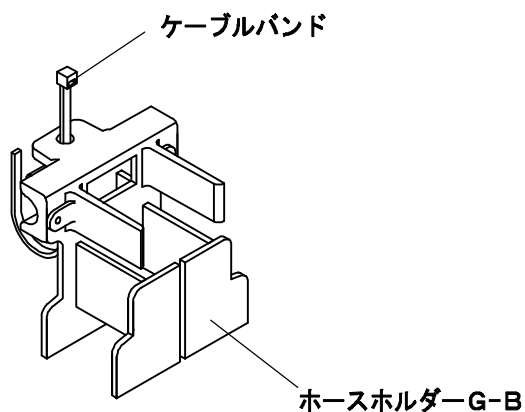
(6) ホッパーに付いているパチン錠でフタの開き止めをします。



D. ホースの取り付け



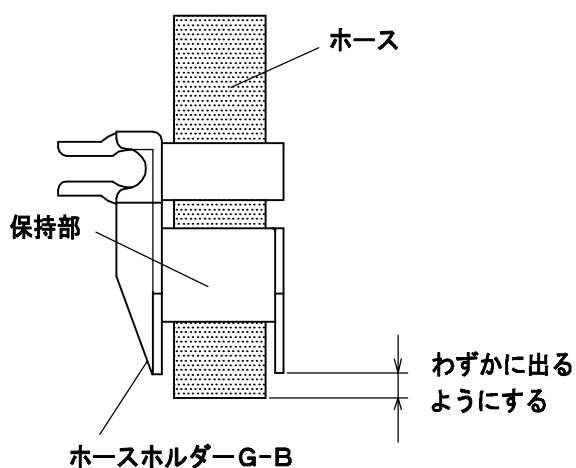
- (1) ロート付き撒き分けフタにホースを回しながら差し込みます。
(外すときも同じ方向に回しながら引き抜きます。)



- (2) ホースを散布したい幅に広げて、先端をホースホルダーG-Bに差し込みます。ホースホルダーG-Bをケーブルバンド又はボルトナットで固定します。

※取り付ける場所、取り付け方によってはホースホルダーG-Bを使用しないことがあります。工夫して固定して下さい。

※作業中のトラクタや作業機に干渉しない場所で、ホース内部に薬剤が滞留しないように注意して固定して下さい。

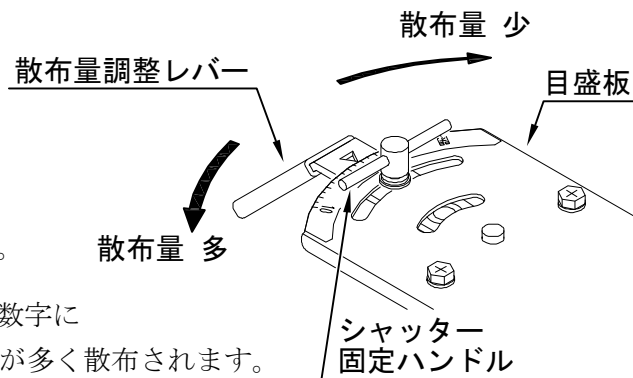


- (3) ホースは保持部よりもわずかに出るように取り付けます。

※ホースはたるみが出ないようにホースホルダーG-Bに取り付けて下さい。ホースが長い場合は切断して下さい。

■ 散布量の調整方法

- (1) 散布量の調整は、必ずシャッターが閉じていて電源スイッチが”切”の状態で行ってください。
- (2) 散布量の調整は、散布量調整レバーで行います。
- (3) レバーに空いている三角穴の頂点を、目盛りの数字に合わせて下さい。目盛りの数字が大きくなる方が多く散布されます。
- (4) 作業中にレバーが動かないよう、シャッター固定ハンドルをしっかり締めて下さい。



■ 散布量目盛りの決め方

※薬剤の形状、比重、湿り具合等によって散布量は変わります。

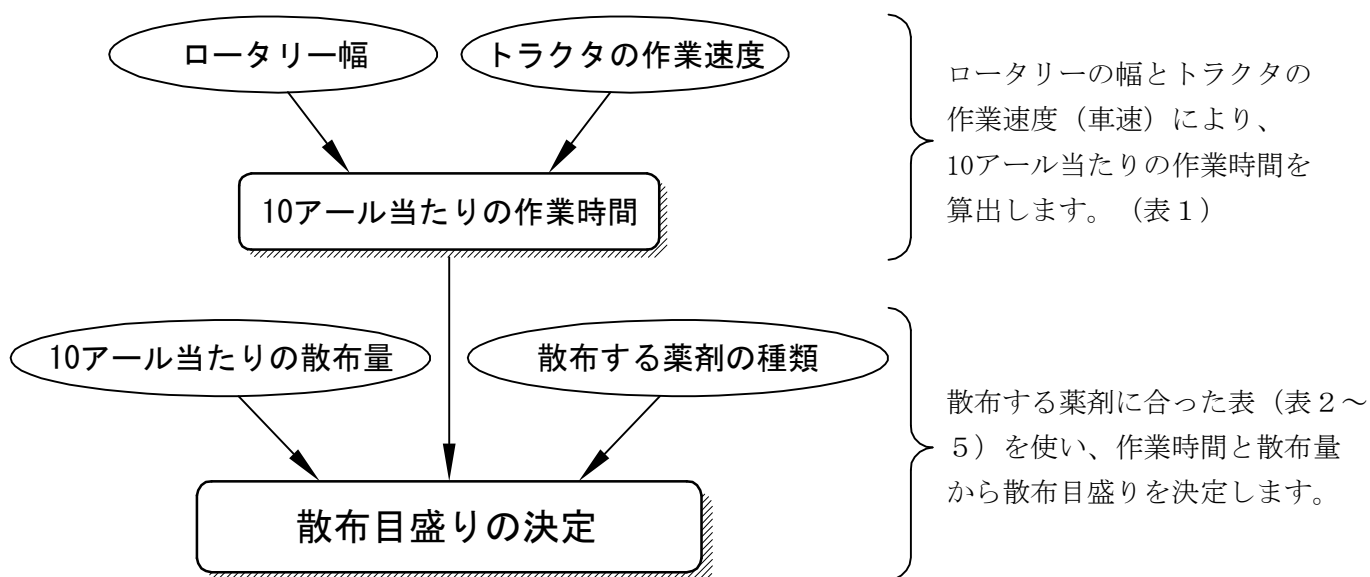
表で求めた目盛りは目安ですので、必ずテスト散布後に目盛りを決めて下さい。

※P10～P11の散布量は撒き分けシャッターを3つ全て開いたときの数値になります。

撒き分けシャッターの開け閉めをすることで、

散布量の数値を約1/3、2/3に変えさせることができます。

詳細についてはP14の『撒き分けシャッターの使い方』の項を参照して下さい。



■ 表1 10アール当たりの作業時間

(例)ロータリー幅が 1400 [mm]で車速が 1.7 [Km]の場合、10アール当たりの作業時間は 27 [分]となります。

ロータリー幅 [mm] \ 車速 [Km]	1.2	1.5	1.7	2.1	2.3	2.5	2.8	3.0	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0
800	71	57	50	41	37	34	31	29	21	19	17	16	14
1000	56	44	39	32	29	27	24	22	17	15	13	12	11
1200	45	36	32	26	24	22	19	18	14	12	11	10	9
1300	42	33	29	24	22	20	18	17	12	11	10	9	8
1400	38	31	27	22	20	18	16	15	12	10	9	8	8
1500	36	29	25	20	19	17	15	14	11	10	9	8	7

※ターン等の時間は含んでおりません。

作業時間はロータリーの重ねしろ（両端で10センチ）を考慮して算出しています。

■ 表2 散布目盛り

ネビジン、フロンサイド等（粉剤）

(例) 10アール当たりの作業時間が 27 [分]で、散布する薬剤の量が30 [Kg]の場合、目盛りは 5.6 となります。

		10アール当たりの散布量											
		5 Kg	10 Kg	15 Kg	20 Kg	25 Kg	30 Kg	35 Kg	40 Kg	45 Kg	50 Kg	55 Kg	60 Kg
10 ア ー ル 当 た り の 作 業 時 間	7 分	4.1	6.7										
	9 分	3.4	5.6	7.4									
	11 分	3.2	4.9	6.6	8.0								
	13 分	2.9	4.4	5.8	7.2	8.4							
	17 分		3.7	4.8	5.9	7.0	7.9	8.8					
	22 分		3.2	4.1	4.9	5.7	6.6	7.4	8.0	8.8			
	27 分		2.8	3.4	4.3	5.1	5.6	6.3	7.0	7.4	8.2	8.7	
	33 分			3.2	3.7	4.3	4.9	5.5	6.0	6.6	7.1	7.4	8.0
	39 分			2.9	3.4	3.9	4.4	4.9	5.3	5.8	6.3	6.8	7.2
	45 分				3.0	3.4	3.8	4.1	4.5	5.3	5.6	6.0	6.4
	56 分				2.7	3.2	3.5	3.8	4.2	4.5	4.8	5.2	5.5

■ 表3 散布目盛り

ネマトリンエース等（微粒剤）

(例) 10アール当たりの作業時間が 27 [分]で、散布する薬剤の量が 20 [Kg]の場合、目盛りは 3.0 となります。

		10アール当たりの散布量											
		5 Kg	10 Kg	15 Kg	20 Kg	25 Kg	30 Kg	35 Kg	40 Kg	45 Kg	50 Kg	55 Kg	60 Kg
10 ア ー ル 当 た り の 作 業 時 間	7 分	2.9	4.6										
	9 分	2.4	4.1										
	11 分	2.1	3.6	4.5									
	13 分	1.9	3.1	4.2	4.8								
	17 分	1.5	2.5	3.5	4.2	4.7							
	22 分	1.2	2.1	2.8	3.6	4.2	4.5	4.8					
	27 分		1.8	2.4	3.0	3.7	4.1	4.4	4.7				
	33 分		1.5	2.1	2.6	3.1	3.6	4.1	4.3	4.5	4.7		
	39 分		1.3	1.9	2.3	2.7	3.1	3.6	4.0	4.2	4.4	4.6	4.8
	45 分			1.6	2.1	2.4	2.8	3.1	3.6	4.0	4.1	4.3	4.5
	56 分			1.3	1.7	2.1	2.4	2.6	2.9	3.2	3.6	3.9	4.1

■ 表4 散布目盛り

バスアミド等

(例) 10アール当たりの作業時間が 27 [分]で、散布する薬剤の量が20 [Kg]の場合、目盛りは 2.6 となります。

		10アール当たりの散布量											
		5 Kg	10 Kg	15 Kg	20 Kg	25 Kg	30 Kg	35 Kg	40 Kg	45 Kg	50 Kg	55 Kg	60 Kg
10 ア ー ル 当 た り の 作 業 時 間	7 分	2.4	4.1										
	9 分	1.8	3.5	4.5									
	11 分	1.5	3.1	4.0	4.8								
	13 分	1.3	2.7	3.6	4.3	4.9							
	17 分		1.9	3.1	3.7	4.2	4.7						
	22 分		1.5	2.3	3.1	3.6	4.0	4.4	4.8				
	27 分		1.3	1.8	2.6	3.2	3.5	3.9	4.2	4.5	4.8		
	33 分			1.5	2.0	2.6	3.1	3.4	3.8	4.0	4.3	4.5	4.8
	39 分			1.3	1.7	2.1	2.7	3.1	3.4	3.6	3.9	4.1	4.3
	45 分				1.5	1.8	2.2	2.7	3.1	3.3	3.5	3.8	4.0
	56 分					1.5	1.8	2.1	2.4	2.8	3.1	3.3	3.5

■ 表5 散布目盛り

ネビリュウ等

(例) 10アール当たりの作業時間が 27 [分]で、散布する薬剤の量が 30 [Kg]の場合、目盛りは 2.0 となります。

		10アール当たりの散布量											
		5 Kg	10 Kg	15 Kg	20 Kg	25 Kg	30 Kg	35 Kg	40 Kg	45 Kg	50 Kg	55 Kg	60 Kg
10 ア ー ル 当 た り の 作 業 時 間	7 分	1.4	2.4	3.5	4.4								
	9 分	1.1	2.0	2.7	3.6	4.3							
	11 分		1.7	2.3	2.9	3.6	4.3	4.8					
	13 分		1.4	2.0	2.6	3.3	3.7	4.2	4.7				
	17 分		1.1	1.6	2.1	2.5	2.9	3.4	3.8	4.2	4.5		
	22 分			1.3	1.7	2.0	2.3	2.6	2.9	3.4	3.6	3.9	4.3
	27 分			1.1	1.4	1.7	2.0	2.2	2.5	2.7	3.2	3.4	3.6
	33 分				1.2	1.4	1.7	1.9	2.1	2.3	2.5	2.7	2.9
	39 分					1.2	1.4	1.7	1.9	2.0	2.2	2.4	2.6
	45 分					1.1	1.3	1.5	1.6	1.8	2.0	2.1	2.3
	56 分						1.1	1.2	1.4	1.5	1.6	1.8	1.9

※表2～5の散布目盛りは撒き分けシャッターを3つ全て開いたときの数値になります。

■ 操作説明（スイッチボックス）

- (1) スwitchボックスの電源スイッチを”入”にします。（スswitchボックスのランプが点灯します。）
- (2) 薬剤の散布および停止は電源スイッチを”入”にしたまま、散布スイッチの 入／切 によって行います。
- (3) 散布スイッチを”入”にするとシャッター（調整レバーも一緒に）が開方向（フレーム左側方向）に移動し、薬剤の散布が開始されます。（撒き分けシャッターが閉じていると散布はされません）
- (4) 散布スイッチを”切”にするとモーターが逆転し、シャッターが閉方向（フレーム右側方向）に移動して、薬剤の散布が停止します。（散布スイッチを”切”にしても、シャッターが完全に閉じて薬剤が止まるまで2秒位 かかることがあります。）
- (5) 作業が終了したら電源スイッチを”切”にして下さい。
（シャッターが閉じる前に電源スイッチを”切”にすると、シャッターが開いたまま薬剤が停止されない状態になりますので注意して下さい。）

※バッテリーの ⊕ ⊖ を逆に接続すると、電源スイッチを”入”にしてもランプは点灯しません。
また、散布スイッチを”入”にするとヒューズが切れたり、”切”にしてもシャッターが閉じないことがあります。

■ 振動板レバーの使用方法

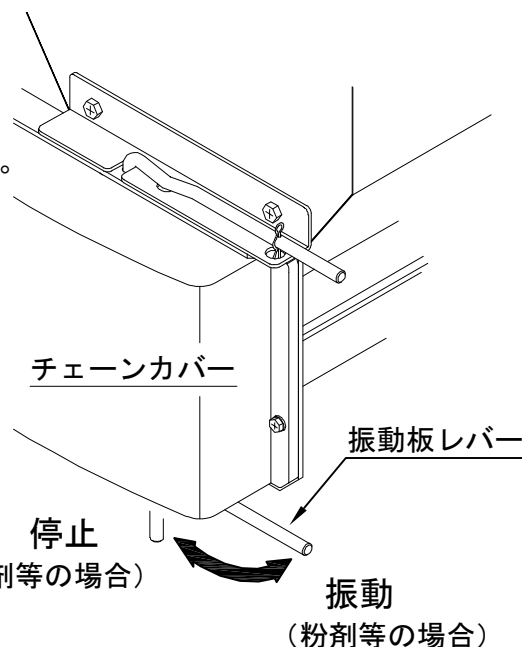
※レバーの切替えは、薬剤を入れる前に行ってください。

※レバーは、振動または停止位置の止まるところまで倒して下さい。

- (1) 粉剤等（ネビジン等）のブリッジしやすい薬剤の時は、レバーを振動側に倒して下さい。
- (2) 微粒剤等のブリッジしない薬剤の時は、レバーを停止側に倒して下さい。

※微粒剤等で振動板を使用すると、散布量が安定しない場合があります。

（微粒剤等の場合）



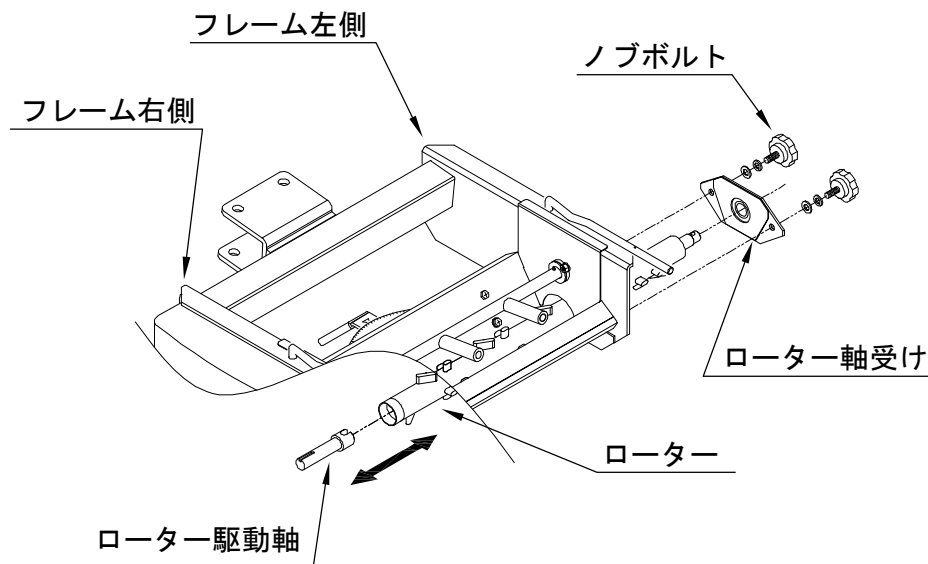
■ ローターの着脱方法

A. ローターを取り外す場合

- (1) 安全の為、スイッチボックスと粉剤散布機本体との接続コネクターを抜いて下さい。
- (2) 2個のノブボルトを外し、ローター軸受けを外します。
- (3) ローター駆動軸からローターを引き抜きます。
（駆動軸とローターの結合部がきつく抜きづらい時は、ローター軸の先端に開いている穴を利用して引き抜いて下さい。）

B. ローターを取り付ける場合

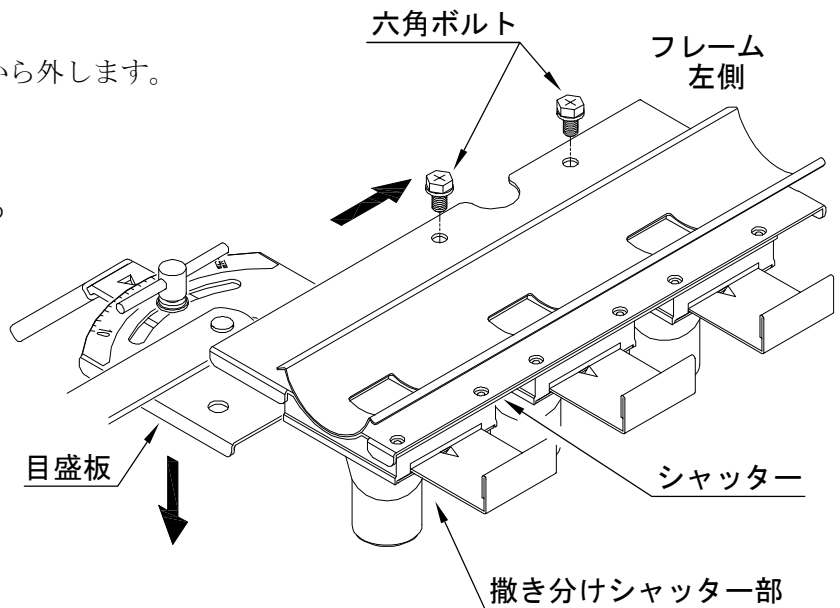
- (1) 安全の為、スイッチボックスと粉剤散布機本体との接続コネクターを抜いて下さい。
- (2) ローターの軸パイプにローター駆動軸が入るよう、ローターを押し込みます。
奥まで入らない時は、ローターを少し回しながら入れて下さい。
- (3) ローター軸受けを取り付けます。ノブボルトは確実に締めて下さい。



■ シャッターの外し方

- (1) ホースをロート付き撒き分けフタから外します。
- (2) ローター軸受けを外します。
- (3) シャッターと目盛板をつないでいる六角ボルトを外します。(2ヶ所)
- (4) シャッターをフレーム左側方向へ、ゆっくり引き抜いて外します。

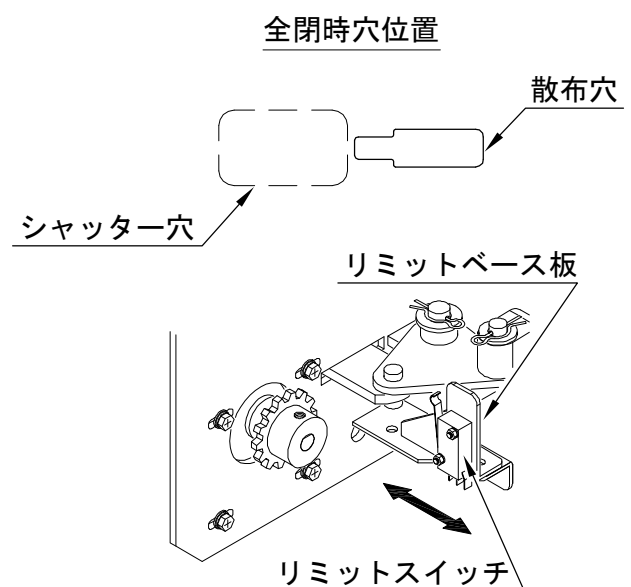
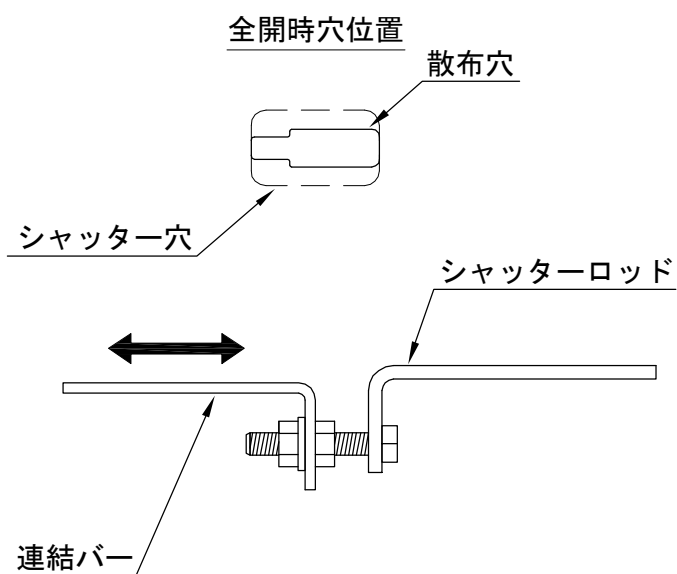
※撒き分けシャッター部は
シャッターと一緒に外れます。



■ シャッター開度の調整方法

(シャッター穴の開度がずれてきた時に行ってください。)

- (1) ホッパーとローターとチェーンカバーを外しておいて下さい。
- (2) 散布量調整レバーを目盛り”10”に合わせて下さい。
- (3) 散布スイッチを”入”にしてシャッターを開けた時、穴の開度が全開になるようシャッターロッドとつながっている連結バーの位置を調整して下さい。
- (4) 散布スイッチを”切”にしてシャッターを閉じた時、穴の開度が全閉になるようリミットスイッチ (リミットベース板ごと) の位置を調整して下さい。



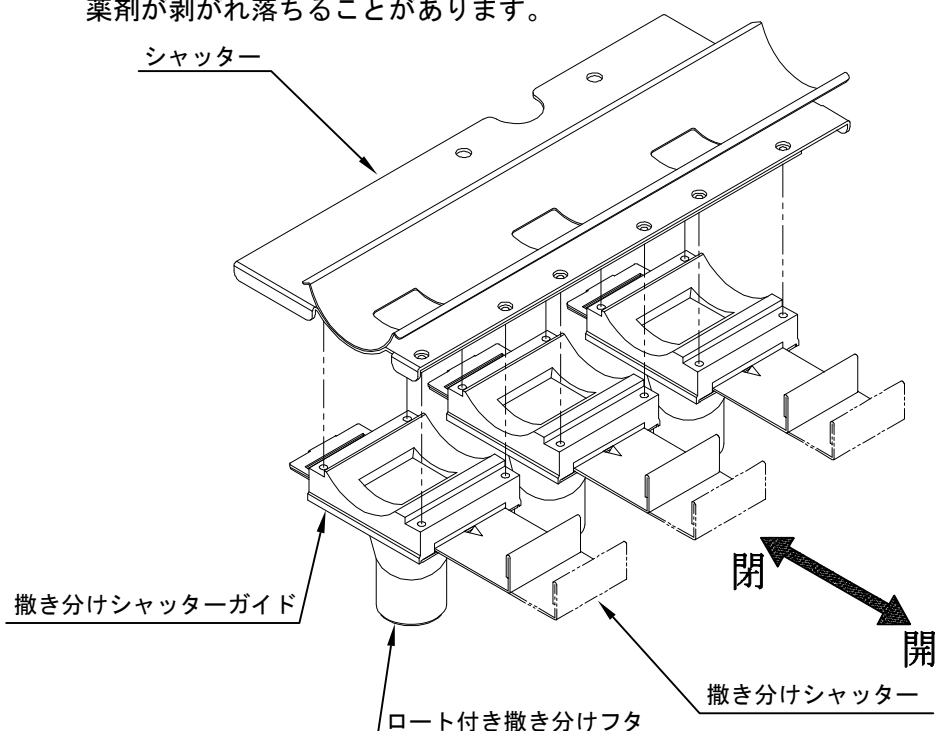
■ 撒き分けシャッターの使い方

- (1) 撒き分けシャッターは3つあります。
- (2) 撒き分けシャッターの開閉は、ストッパーが効くまで行って下さい。
- (3) P10～P11に記載されている散布量の表は撒き分けシャッターを3つ全て開いた時の数値になります。

※撒き分けシャッターを閉じると、シャッターと撒き分けシャッターの間に薬剤が残ります（約5～10g程度）

残った薬剤は撒き分けシャッターを開くと排出されます。

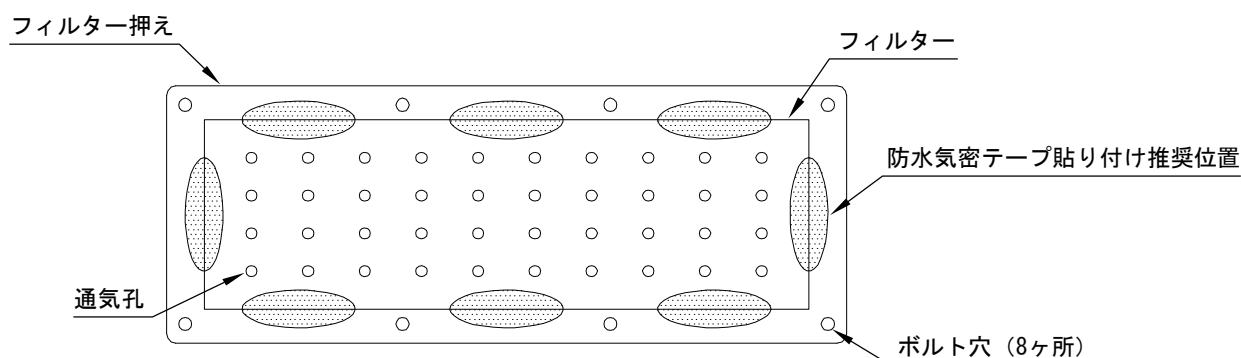
※撒き分けシャッターを閉じると、シャッター開閉時にフェルトに付着した薬剤が剥がれ落ちることがあります。



■ フィルターの交換方法

（フィルターが目詰まりした時や、破損した時に交換して下さい。）

- (1) フィルター押えをホッパーに固定しているボルト・ナットを外します。（8ヶ所）
- (2) 古くなったフィルターと防水気密テープを外します。
- (3) ホッパー等についた粘着剤をシール剥がし剤でキレイに拭き取ります。
- (4) 通気孔を全て塞ぐようにフィルターの取り付け位置を決めます。
- (5) 通気孔やボルト穴に重ならない位置に防水気密テープでフィルターを固定します。



■ 使用後の管理

※点検や清掃の際は必ず電源スイッチを切って4P防水コネクターを外して下さい。

A. 一日の作業が終わった時

- (1) ホッパー内に残った薬剤は、完全に排出して下さい。
- (2) 底板やローターに付着した薬剤は取り除いて下さい。
- (3) ホッパー内部および撒き分けシャッター部等の水濡れは翌日の作業に影響しますので、雨、夜露等には十分注意して下さい。

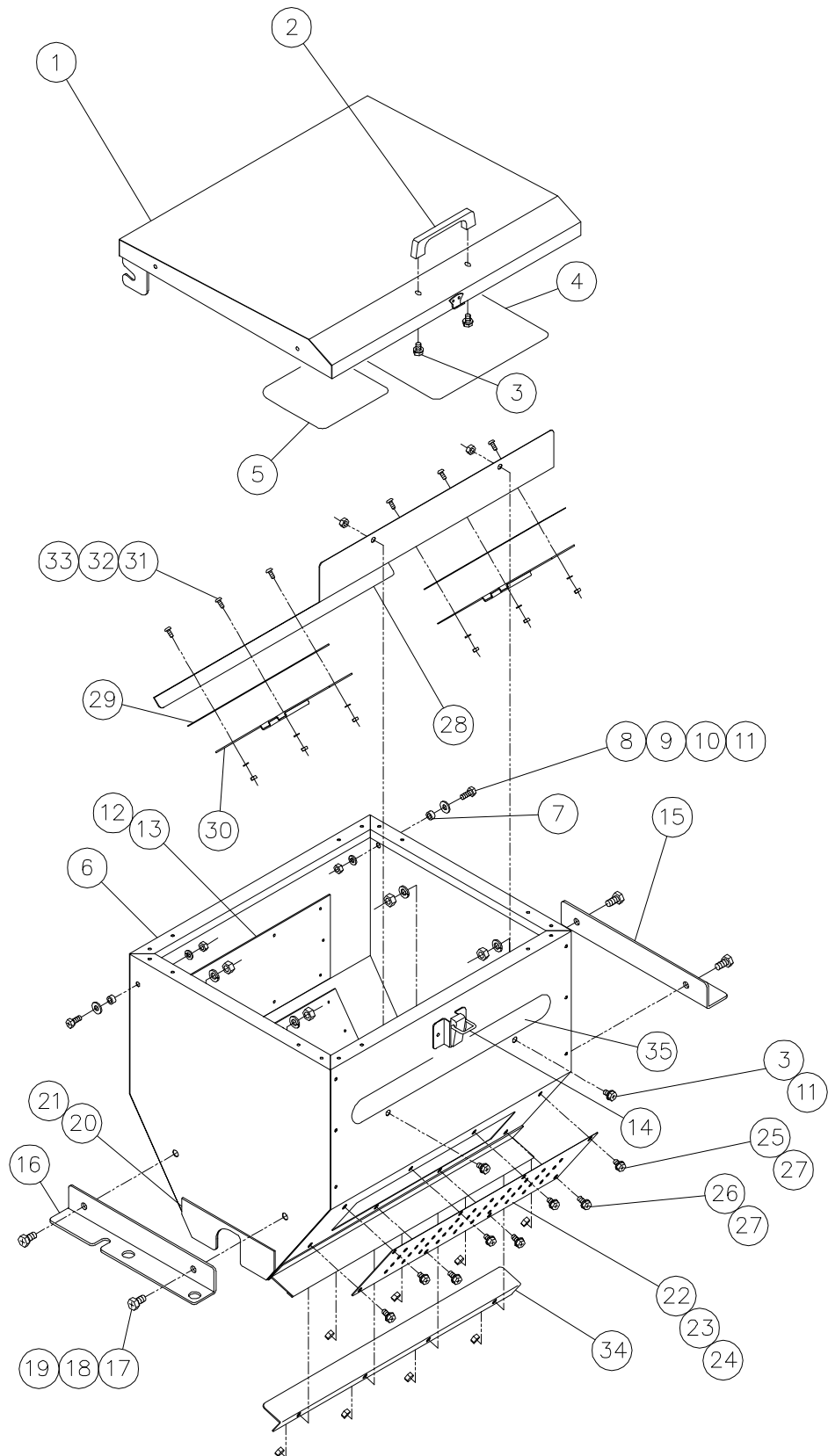
B. 今期の作業が終わった時

※薬剤等の散布剤は強い酸性を有していますので、清掃は念入りに行ってください。

- (1) ホッパー、撒き分けシャッター部、ローター、シャッターを外して、内外を良く水洗いして下さい。
 - ※電気部品に水がかからないように注意して下さい。
 - ※フィルターに水がかかった場合は完全に乾燥させて下さい。
- (2) 水洗い後は完全に乾燥させて下さい。
 - ※乾燥後、ローター軸受けのブッシュにグリースを少量塗ると錆び難くなります。
- (3) ホースは丸めるとクセがつきますので、真直ぐにした状態で保管して下さい。

■ 分解図

A. ホッパー

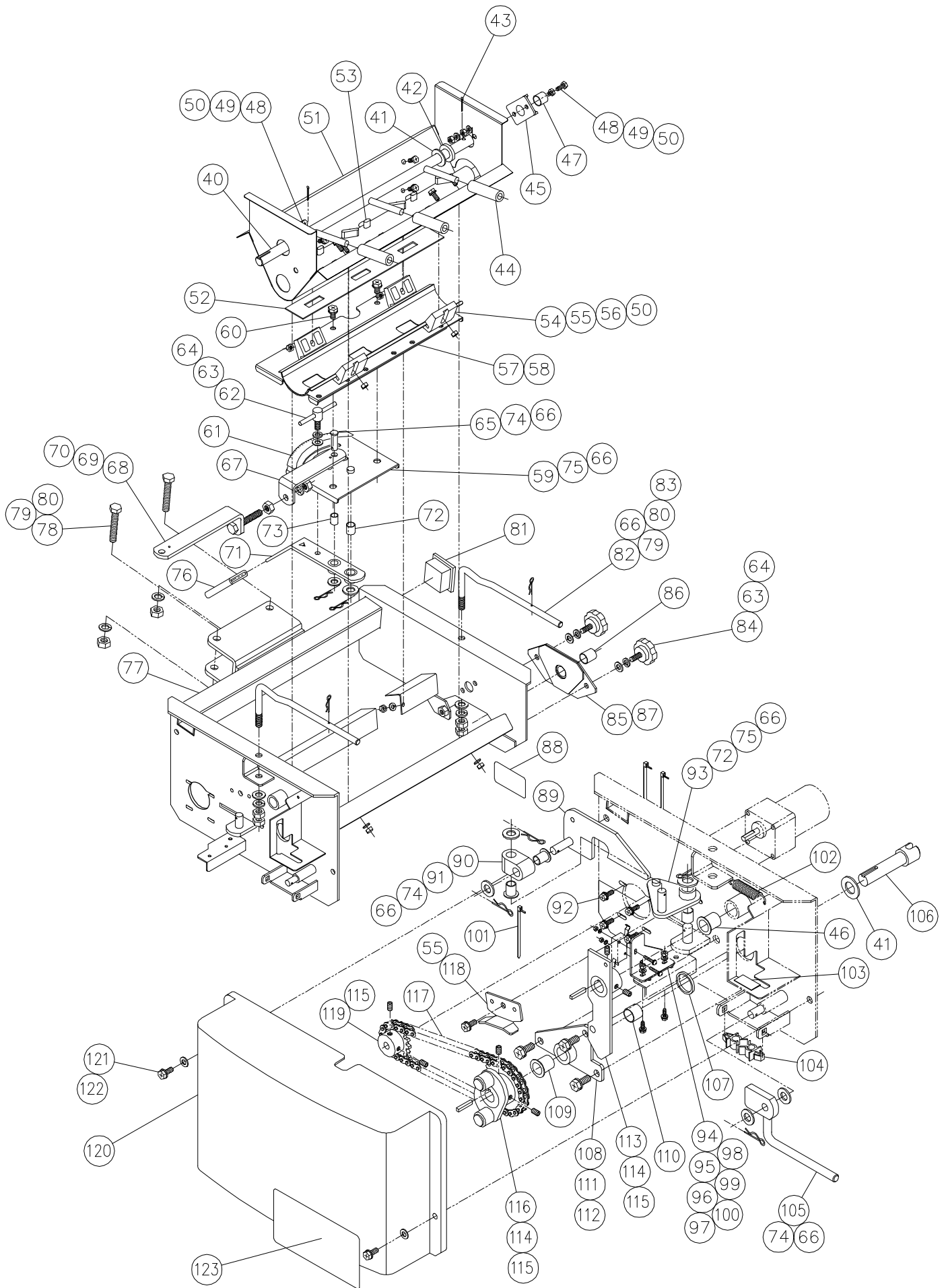


部品表（ホッパー）

ボルト、ナット、ネジ類は汎用品を使用しておりますので、市販品でも代替できます。

No.	部 品 名	数 量	No.	部 品 名	数 量
1	フタ（パチン錠ツメ付）	1	19	六角ナット M8（SUS）	4
2	取手	1	20	左フェルト	1
3	ばね座金組込み十字穴付き 六角ボルトM6×10（SUS）	4	21	右フェルト	1
4	目盛表シール（No.TD39075）	1	22	フィルター押さえ	1
5	注意シール（No. TD39076）	1	23	フィルター	1
6	ホッパー	1	24	防水気密テープ	8
7	フタカラー	2	25	ばね座金組込み十字穴付き 六角ボルトM5×10（SUS）	4
8	十字穴付き六角ボルト M6×15（SUS）	2	26	ばね座金組込み十字穴付き 六角ボルトM5×15（SUS）	4
9	平座金（大） M6 外径φ15.5（SUS）	2	27	六角ナット M5（SUS）	8
10	ばね座金 M6（SUS）	2	28	振動板（PN用）	1
11	六角ナット M6（SUS）	4	29	ウレタンシート	2
12	窓板	2	30	ウレタンシート押さえ	2
13	十字穴付きタッピンねじ M4×6 なべ2種（SUS）	20	31	十字穴付きなべ小ねじ M4×10（SUS）	6
14	パチン錠 C-1012-2-2	1	32	ばね座金 M4（SUS）	6
15	左フランジ	1	33	六角ナット M4（SUS）	6
16	右フランジ	1	34	薬剤返し	1
17	十字穴付き六角ボルト M8×15（SUS）	4	35	メインシール（PN-40-3）	1
18	ばね座金 M8（SUS）	4			

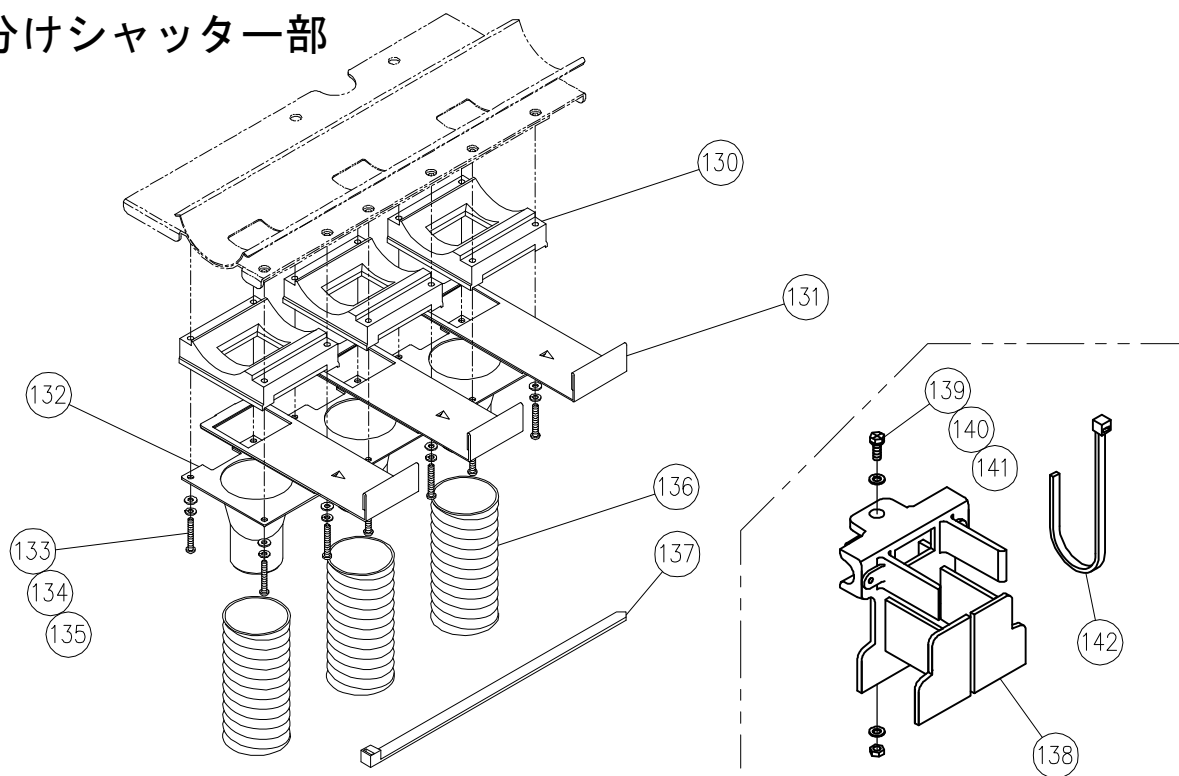
B. フレーム、駆動部



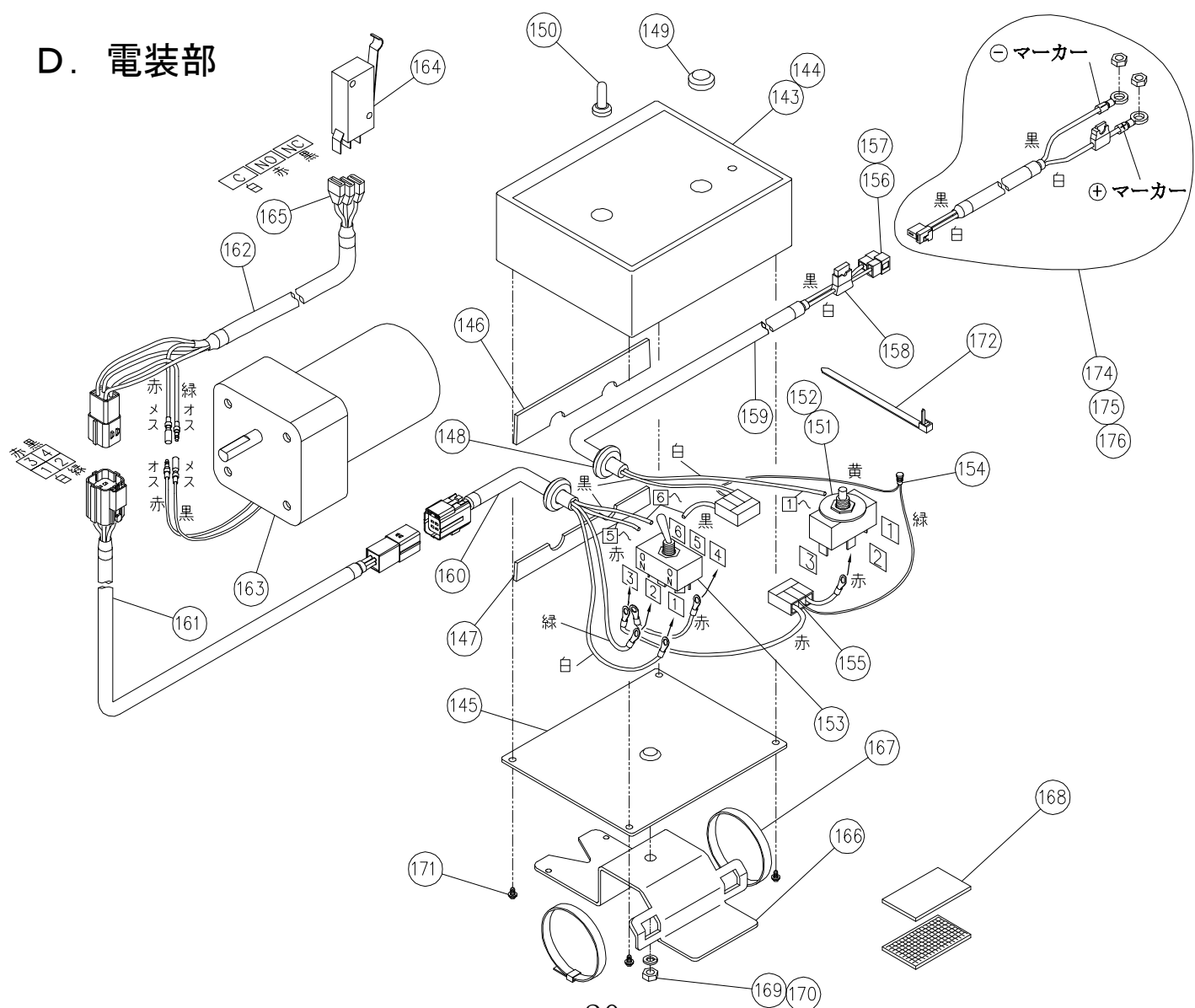
部品表（フレーム、駆動部）

No.	部 品 名	数 量	No.	部 品 名	数 量
40	振動軸 (PN用)	1	84	ノブボルト M8×20 (SUS)	2
41	平座金 内径16.2 (SUS)	3	85	ローター軸受け (PN用)	1
42	振動軸パッキン	2	86	ブッシュ (LFB-1620)	1
43	割ピン (φ2.5×20) (SUS)	2	87	ローター軸受けゴム	1
44	ゴムホース (内φ9×長さ65)	3	88	製造シール (No.TE39039)	1
45	振動軸軸受け	1	89	横リンク	1
46	ブッシュ (80F-1620)	1	90	ジョイント	1
47	ブッシュ (80B-1615)	1	91	ブッシュ (LFF-1015)	2
48	十字穴付き六角ボルト M6×15 (SUS)	6	92	ばね座金平座金組込み十字穴付き 六角ボルト M4×15	4
49	ばね座金 M6 (SUS)	6	93	三角リンク	1
50	六角ナット M6 (SUS)	10	94	リミットベース板	1
51	底板 (PN用)	1	95	ばね座金平座金組込み十字穴付き なべ小ねじ M3×20 (SUS)	2
52	底板フェルト (PN用)	1	96	平座金 M3 (SUS)	2
53	ローター (PN用)	1	97	六角ナット M3 (SUS)	2
54	シャッターガイド	4	98	ばね座金平座金組込み十字穴付き 六角ボルト M4×12 (SUS)	2
55	ばね座金組込み十字穴付き 六角ボルト M6×15 (SUS)	5	99	平座金 M4 (SUS)	2
56	シールワッシャー M6	4	100	六角ナット M4 (SUS)	2
57	シャッター (PN用)	1	101	リリースタイ (RELK-2R)	3
58	縁フェルト	2	102	引張バネ	1
59	目盛板	1	103	エッジング CEN-016	1
60	ばね座金組込み十字穴付き 六角ボルト M8×15 (SUS)	2	104	ロッドホルダー	2
61	目盛りシール	1	105	振動板レバー	1
62	シャッター固定ハンドル	1	106	ローター駆動軸	1
63	ばね座金 M8 (SUS)	3	107	駆動軸パッキン	1
64	平座金 M8 (SUS)	3	108	駆動軸受け (PN用)	1
65	平頭ピン (φ10×30)	1	109	ブッシュ (LFF-1620)	1
66	Rピン (φ10用)	8	110	ブッシュ (LFB-1615)	1
67	連結バー (PN用)	1	111	ばね座金組込み十字穴付き 六角ボルト M8×20 (SUS)	3
68	シャッターロッド (PN用)	1	112	六角ナット M8 (SUS)	1
69	ばね座金 M10	1	113	ローラーアームアッシー	1
70	六角ナット M10	2	114	キー (4×4×25 片アール)	2
71	散布量調整レバー	1	115	六角穴付き止めねじ M6×10	6
72	ブッシュ (LFB-1215)	2	116	ロータースプロアッシー	1
73	ブッシュ (LFB-1015)	1	117	チェーン RS35, 56リンク	1
74	平座金 M10	5	118	チェーン受け	1
75	平座金 M12	2	119	モーターギア (歯数10) (PN用)	1
76	ハンドルニギリ	1	120	チェーンカバー	1
77	フレーム (PN用)	1	121	ばね座金組込み十字穴付き 六角ボルト M6×25 (SUS)	2
78	六角ボルト M10×75 (SUS)	2	122	平座金 M6 (SUS)	2
79	ばね座金 M10 (SUS)	4	123	振動説明シール (No.TD39077)	1
80	六角ナット M10 (SUS)	6			
81	角柱栓 (□40×t2.0)	1			
82	ホッパー固定ボルト	2			
83	平座金 M10 (SUS)	2			

C. 撒き分けシャッター部



D. 電装部



部品表（撒き分けシャッター一部）

No.	部 品 名	数 量	No.	部 品 名	数 量
130	撒き分けシャッターガイド (スポンジ付)	3	138	ホースホルダーG-B	3
131	撒き分けシャッター (スパーサー付)	3	139	ばね座金組込み十字穴付き 六角ボルト M6×30 (SUS)	3
132	ロート付き撒き分けフタ	3	140	平座金 M6 (SUS)	6
133	十字穴付きなべ小ねじ M4×25 (SUS)	1 2	141	六角ナット M6 (SUS)	3
134	ばね座金 M4 (SUS)	1 2	142	リリースタイ (RELK-2R)	3
135	平座金 M4 (SUS)	1 2			
136	ホース (内径φ38.1) L1500	3			
137	インシュロックタイ (AB-350 白)	3			

部品表（電装部）

No.	部 品 名	数 量	No.	部 品 名	数 量
143	スイッチボックス	1	162	3 芯コード 1.25mm ² ×0.45m	1
144	スイッチボックスシール	1	163	ギアードモーター 20W	1
145	スイッチボックス裏フタ	1	164	リミットスイッチ (V-214-1C6)	1
146	ハーネスホール板 (上)	1	165	ファストン端子 (TMEDN630809-FA)	3
147	ハーネスホール板 (下)	1	166	スイッチ取付座	1
148	グロメット (B10-2)	2	167	ステンレスバンド (W2-SX-T9-20)	2
149	防水キャップ (AT-4043)	1	168	マジックテープ	4
150	防水キャップ (WD1811B)	1	169	六角ナット M6	1
151	電源スイッチ (WDB1121F)	1	170	ばね座金 M6	1
152	平座金 M12	1	171	十字穴付きタッピンなべねじ M3×8 (SUS) 2種	4
153	散布スイッチ (WD1321F)	1	172	リリースタイ (RELK-2R)	10
154	ランプ (DOH-5FH-G)	1	173	取扱説明書	1
155	ワンタッチコネクター	2			
156	2P 電源カプラ (7122-2128)	1	174	バッテリー電源延長コード	1
157	Mターミナル (7114-2020)	2	175	平型ヒューズ15A (予備 1 個)	2
158	平型ヒューズ10A (予備 1 個)	2	176	六角ナット M6 3種	2
159	電源入力ケーブル	1			
160	電源出力コード	1			
161	電源出力中継コード	1			

■ 仕様諸元

型 式	P N-4 0-3
全幅 (mm)	5 6 0
奥行 (mm)	5 1 0
全高 (mm)	5 7 0 ※1
重 量	3 0 kg
ホッパー容量	4 0 リットル
ホース本数	3 本
散布量 (Kg/10a)	1 0～6 0 (作業時間：3 0 分) ※2
散布薬剤種類	粉剤 (ネビジン、フロンサイド等) 微粒剤 (バスアミド、ネマトリンエース等) ※ 湿った薬剤や液剤は散布できません。
量 調 節	シャッター開度
散 布 方 法	ローター繰り出し散布
動 力	D C 1 2 Vギヤードモーター
電 源	トラクターバッテリー
オプション	・取付部材 P N-B 5 0 ※現地での切断・溶接加工が必要になります。 ・ホースホルダーG-B ※滞留が起きないように、工夫して取付けて下さい。

※1 ホースを除いた寸法になります。

※2 撒き分けシャッターが3つ全て開いた時の数値になります。

※3 散布量については本書「散布量目盛の決め方」の項を参照のこと。

※4 ホッパー容量はリットル表示です。薬剤の比重により表示どおり入らない場合もあります。

※5 仕様は改良の為、予告なく変更することがあります。